

## ニラのカルテック施肥例 (10アール当り)

| 時期                     | 方法  | 資材  |
|------------------------|---|---|
| 本畑の地力作り                | なるべく早い時期(1ヶ月前迄)に投入して、深耕する                             | <b>ラクトバチルス 600g</b> … 排水がよく、肥沃な土を作ります<br><b>堆厩肥 3トン以上</b> (5トン程度を推奨)<br>※約2年分の地力を作るために、しっかりと堆肥を投入します。<br><b>硫安 80kg</b> (通常の複合肥料なら チッソ成分16kg程度)<br>※この硫安は元肥になりますが、ラクトバチルスによって地力的に効きます。<br>定植時には <b>土壌EC: 0.1~0.2</b> に安定していることが大事です。<br>※ <b>土壌pH: 6.0~6.5</b> に調節しておく必要があります。前作からカルテック栽培を継続していればほとんど問題が無いはずですが、今作からの取組みなどで 土壌pH: 6.0より低い(5.5程度)の場合は、畑のカルシウム60kg程を <b>地力作り時</b> にも投入して、深層土まで酸性を中和して下さい。(よく言われるpH: 6.5~7.0では 高pHすぎ、徒長しやすくなります。栽培途中にもpH調節が出来るので 最初、高pHにする必要はありません。) |
| 本畑の整地時                 | 整地(ウネ作り)時に、(ウネ上に)散布                                   | <b>畑のカルシウム</b> (または <b>カルテックCa粒状</b> ) <b>60kg</b><br>※通常は畑のカルシウム。ただし、ハウス栽培などで 土壌pH: 6.5以上と高い場合は <b>カルテックCa粒状</b> を施します。  |
| 育苗                     | (3~4月 播種)<br>液剤は散水時に使用。<br>追肥は粒状、またはアミノ酸液を使用。         | (播種床の準備は 上記、本畑と同じにします。本畑と違う土壌は良くありません。)<br><b>濃縮酵素液 1000~500倍</b> … 根を強くし、生長を揃えて促進<br><b>カルテックCa液状 1000~500倍</b> … 葉を厚くし、苗質を充実させる<br>※7~14日間隔で交互に、葉の上からタツブリ散布します。<br><b>【追肥】</b> 苗床1アール当り <b>硫安・カルテックCa粒状 各2kgずつ</b><br>※本葉2枚展開後に 第1回。半月ないし1ヶ月後に 第2回。[計2回 追肥]<br>※施用後 散水して、葉についた粒は落として下さい。<br>※苗の健康のために、チッソ(またはNPK成分)のみではなく、Caも施す。  |
| (5~6月) 定植時             | 植え溝に散布、またはドブ漬け  | <b>濃縮酵素液 500倍液</b> … 活着と初期の根張り促進  |
| 1年目の生長管理<br>(2年目・収穫前迄) | 葉面散布<br>葉上から、根まで染み込むように、タツブリと散布。または灌水施用。<br>半月ごと、交互に。 | <b>濃縮酵素液 500倍液</b><br>※ <b>根の力をつけて 生長を促進します。葉先までピンと厚く、葉先が枯れません。</b><br>※特に生長が弱い場合、根腐れの場合、抽ダイが心配な場合、花茎の刈取り後などには <b>原液3~10リットルを灌水施用(300~500倍)</b> 。<br>※根が強くても肥切れの場合は、 <b>メガデルトン・ネオスリー 800倍</b> 葉面散布<br><b>カルテックCa液状 500倍</b> … 生育を引締め、葉を厚く充実させます<br>※葉腐れ、白斑葉枯れなどが心配な時、チッソ過多の場合は 特に有効です。  |
| (9月) 追肥                | 右記を同時に施用<br>半月間隔で2~3回<br>(株の養成・充実)                    | <b>硫安 10kg</b> (×2回)<br><b>畑のカルシウム</b> (または <b>カルテックCa粒状</b> ) <b>10kg</b> (×2回)<br>※ <b>土壌pH: 6.0以上(特に6.5以上)なら、Ca粒状を使って下さい。</b>  |
| (翌年の春) 捨て刈り・収穫の時       | 刈取り前 7日頃  | <b>カルテックCa液状 500倍</b> … 葉を厚く充実させ 旨味を増し 鮮度を保持  |
|                        | 刈取り直後(灌水)   | <b>濃縮酵素液 500倍</b> … 根を回復させ 次の茎葉の伸びを促す   |
|                        | 刈取り後 5日頃  | <b>【追肥】 硫安・カルテックCa粒状 各10kgずつ</b><br>※施用後に灌水して、粒を株から洗い流して下さい。<br>※ニラ特有の臭い(硫化アリル)は <b>イオウを多く含むので、Ca粒が効果的です。</b><br>しかし、 <b>土壌pH: 6.0以下に酸性化していたら、畑のカルシウムを使って下さい。</b><br><b>※刈取り時に傷んだ根を まず回復させてから、その後に 追肥を施します。この方法で株の栄養バランスと健康を保って 消耗させず、次の茎葉を順調に伸ばします。</b>  |

※上記は 大葉品種(スーパーグリーンベルト等)の、春蒔き露地栽培(夏穫り雨よけ)の施肥例です。3年目も収穫する場合は 8月中旬に収穫を打ち切って、以後 9月の追肥から 繰返します。他の作型は上記から類推して下さい。